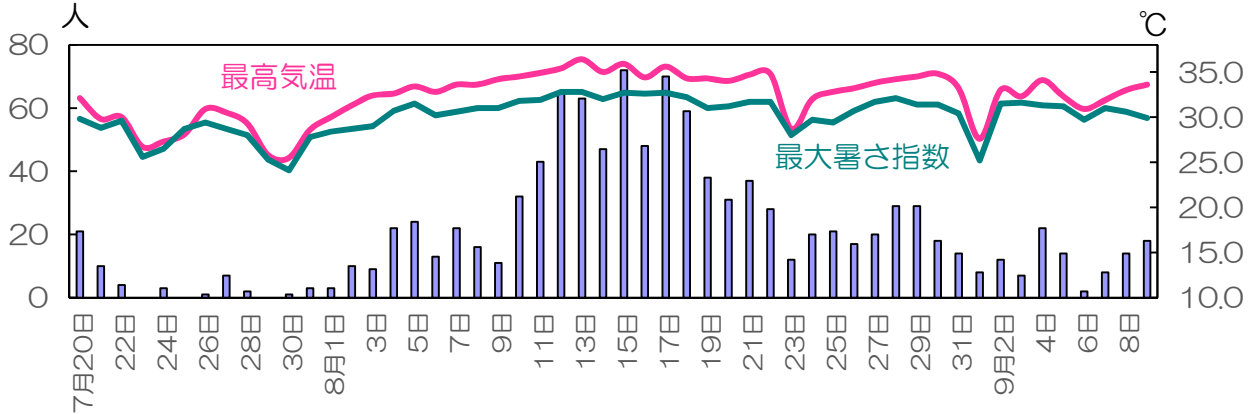


熱中症情報

<搬送数>

令和2年5月1日～9月9日までの搬送数（消防局データを使用）は、計1,255人（5月24人、6月96人、7月87人、8月943人、9月105人）でした。8月中旬は、連日の猛暑で、搬送数も60人/日以上（8月12～13日、15日（72人）、17日）と多かったです。その後は減少傾向です。

9月に入り、暑さが少しずつ和らいできて、夏の疲れがでる頃です。体調管理にご留意ください。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために『新しい生活様式』を実践し、感染症予防とともに、暑い日には、熱中症予防（屋外で人と2m以上離れている時はマスクを外す、水分補給、エアコンの使用など）にも心掛けましょう。



暑さ指数とは? 人間の熱バランスに影響の大きい①温度 ②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境 ③気温の3つを取り入れた温度の指標 詳細は「環境省熱中症予防情報サイト [暑さ指数\(WBGT\)とは?](#)」をご覧ください。

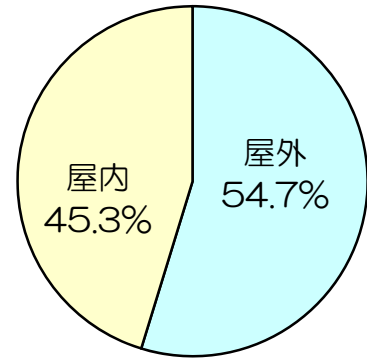
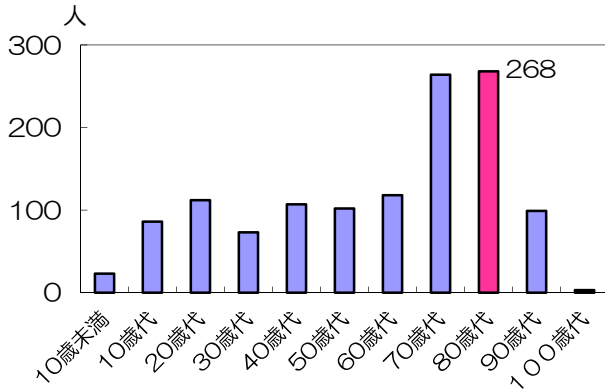
以下のグラフのデータは、5月1日からの累積搬送数です。

<年齢別>

年齢別では、80歳代が268人と、最も多く、21.4%でした。

<発生場所>

屋外54.7%、屋内45.3%で、屋外での発生が多くなっています。



<重症度>

軽症52.6%、中等症41.0%、重症5.0%、重篤1.4%でした。

高齢者（65歳以上）の重症の割合が高くなっており、高齢になると重症化の傾向が伺えます。

